

様式：（施18）「使用材料及び付近見取図・給水装置完成配管図（水道部発注工事）」（A3、1枚に印刷）

水栓番号・旧水栓番号について：**分岐1箇所について1枚**作成してください。共同管や水栓番号が複数ある場合は、どの水栓の分岐が分かるよう、すべての水栓番号を記入してください。
給水装置場所について：共同管や水栓番号が複数ある場合は、位置が特定できる範囲で記入してください。

分岐材料や、給水管・止水栓等の口径間違いがないか、確認をお願いします。

共同管番号が不明な場合は維持給水係にお問い合わせください。

【種別】の箇所は文字を消して、
・（繰越）配水施設整備
・水道改良
等を記入してください。
記入内容が不明な場合は施設係にお問い合わせください。

目標となるものが入った位置図に対象地を赤で表示してください。方位記号を記入してください。
※上方向が北は省略（住宅地図等使用のこと）。共同管の場合は分岐位置を赤丸で囲ってください。

様式下段の記入要領を確認し、記入してください。

(水道部発注工事用) **(記入例)**

使用材料及び付近見取り図

旧水栓番号 第 054321 号
新水栓番号 第 012345 号

給水装置場所
三原市 西野5丁目14-1

品名	口径・規格	単位	数量	承認番号
(分岐材料)				
サドル付分水栓	φ100×φ20	個	1	
防食コア		個	1	
(弁検材料)				
ボール止水栓	φ20	個	1	
(管材料)				
ポリエチレン二層管	φ20	m	2.6	
(給水管材料)				
PPφ20 (公道上)	φ20	m	2.1	
PPφ20 (宅地内)	φ20	m	0.5	

高圧給水 1階 2階 3階
 4階 5階 その他

受水槽容量
高架水槽容量
加圧ポンプ付受水槽
止水栓止番号
共同管番号

概要
配水施設整備 令和2年度 55号
完成検査日 令和2年 12月 22日
業者名 株式会社〇〇建設

目標図
止水栓及び分岐位置詳細図

記入要領
1 給水装置場所は、町名・番地まで正確に記入すること。ただし、実況がない場合は町名とする。
2 概要の「【種別】」は、契約書に記載されている種別を上書き記入すること。また、「完成検査日」は契約した当該工事の完成検査日を記入すること。
3 布設管延長の「口径・規格」欄には、管種を記入すること。(PEPやLPPなど)

分岐箇所及び止水栓の位置が目標図を参考に特定できるよう、寸法を記入してください。(道路幅員、配水管から官民境界までの距離、給水管の埋設状況、止水栓位置を記入)配水管及び給水管の管種・口径を記入してください。方位記号記入してください。※上方向が北は省略。

(水道部発注工事用)

給水装置完成配管図

指定給水装置工事事業者
番号 350 名称 有限会社〇〇設備 免状番号 7654321

給水装置工事主任技術者 水道 太郎 (印)

検査事項
検査年月日 令和2年 11月 25日 確認年月日 令和2年 11月 25日
検査基準 水圧1.75MPaを1分間以上保持すること。 残留塩素 検査基準 通水確認後、遊離残留塩素0.1mg/l以上であること。
分岐部 試験水圧 1.75 MPa (合格) 不合格 採水場所 三原市西野5丁目14-1 (敷水栓・穿孔箇所等)
給水管 試験水圧 1.75 MPa (合格) 不合格 判定 残留塩素 0.3 mg/l (合格) 不合格

分岐部写真添付
給水管引き込み写真添付

記入要領
1 給水装置の埋設状況は、敷地側から配水管側に向けて撮影したものとし、掘削
2 分岐部分の写真については、敷地側から配水管側に向けて撮影したものとし、掘削
3 配水管が埋設されている場合は、敷地側から配水管側に向けて撮影したものとし、掘削
4 配水管が埋設されている場合は、敷地側から配水管側に向けて撮影したものとし、掘削
5 遊離残留塩素の確認は、通水確認後、遊離残留塩素0.1mg/l以上であることを確認すること。
6 採水場所については、敷地側から配水管側に向けて撮影したものとし、掘削

記入押印漏れが無いようお願いします。

記入漏れが無いようお願いします。

アイソメ図に配水管及び給水管の管の管種・口径・管の延長も記入してください。既設管接合の場合は、既設管の管種と口径も記入してください。

給水管の埋設状況が分かる写真を添付してください。既設管接合の場合は、接合箇所の写真を添付してください。(別紙)

分岐部分の写真を添付してください。分岐位置の深度・官民境界からの距離が分かる写真を添付してください。(別紙可) 配水管が铸铁管の場合は、防食コア挿入状況の写真も添付してください。(別紙)